

# パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ

## ベーシック・エンカウンター・グループ 第2回

### 「人間尊重の心理学」を体験的に学ぶ

担当者	青木 剛（南山大学人文学部心理人間学科 講師） 楠本 和彦（南山大学人文学部心理人間学科 教授） 永野 浩二（追手門学院大学教授） 大島 利伸（南山大学付属小学校教諭）
概要	<p>パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャースは、当初、「クライアント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。</p> <p>パーソンセンタード・アプローチは、人が誰でも持っている、よりよくいきていこうとする力（実現傾向）を信頼し、自分も相手も大切にできるような自他尊重の関係を探求していくことが基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も看護者もグループやコミュニティでの実践者にとっても大切な視点といえるでしょう。</p> <p>ベーシック・エンカウンター・グループは、パーソンセンタード・アプローチの代表的なグループ・プログラムです。</p> <p>7名程度の人間が同じ場所と時間を共にしていきます。何をするかをあらかじめ決めないで、そこにいる人間の自発的な「語る／聴く」というやりとりを積み重ねながら、お互いを大切に出来るような安全感・信頼感のある場をみんなで作っていきます。そんな中での自分や他者とのふれあい・出会いの体験が期待できるグループがベーシック・エンカウンター・グループです。</p> <p>パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係に関心を持つ方などをこのワークショップのターゲットと考えています。</p>
日程	2024年11月2日(土)13:00～11月4日(月・祝)16:00 2泊3日
定員	14名
会場	南山学園研究センター 〒466-0834 愛知県名古屋市昭和区広路町隼人30
受講料	受講料 27,470円〈税込〉 滞在費 18,600円〈税込〉 予定（宿泊・食事含む）※現地徴収
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 楠本 和彦 記</p> <p>2024年度ベーシック・エンカウンター・グループが2024年11月2日（土）～4日（月）2泊3日の日程で、おんたけ休暇村にて実施されました。</p> <p>参加者は14名、ファシリテーターは青木剛さん、永野浩二さん、大島利伸さん、楠本和彦の4名でした。2グループにわかれて、ベーシック・エンカウンター・グループを行いました。最初と最後に2度全体会を行いました。</p> <p>参加者の皆さんは2泊3日の間、じっくりと、他の方の語りを聴き、自分の中に生まれてきた感じや思いを見つめ、他者や自分と関わっておられました。そして、様々な思いを抱えて、それぞれの日常に戻っていかれました。</p> <p>このベーシック・エンカウンター・グループは、パーソンセンタード・アプローチやベーシック・エンカウンター・グループが専門領域だった故坂中正義先生が開催を熱望していたものでした。</p> <p>昨年度に続き、今年度も開催できたことをうれしく思います。坂中先生が闘病中に記されたコラム『「ラボラトリー方式の体験学習」と私:「Tグループ」と「エンカウンター・グループ」』が、</p> <p>『人間関係の学び方:人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』 (土屋耕治・楠本和彦・中村和彦(編) ナカニシヤ出版 <a href="https://www.nakanishiya.co.jp/book/b10105364.html">https://www.nakanishiya.co.jp/book/b10105364.html</a>) に掲載されています。</p>